日バス協技第３９６号

平成２６年１２月８日

各都道府県バス協会　会長　殿

公益社団法人日本バス協会

会 長　髙　橋　　幹

大雪時等にけん引等する際の注意事項に関する周知について（依頼）

平素より当協会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

標記について、国土交通省自動車局技術政策課長から別紙のとおり通知がありました。

本通知は、昨冬に、大雪時に走行不能となった大型トラックのけん引フックの位置が確認できず、除雪作業の妨げとなった事案が発生したこと踏まえ発せられたものです。

つきましては、別添「大型トラックのフロント・けん引フック」を参考に、本通知の趣旨（自車のフロントフックの位置の把握）について、貴協会会員事業者に周知方お願いいたします。

別紙

国自技第１３２号
平成２６年１２月５日

公益社団法人　日本バス協会会長　殿

国土交通省自動車局
技術政策課長

大雪時等にけん引等する際の注意事項に関する周知について（依頼）

昨冬において、大雪時に大型トラックが走行不能となった車両のけん引を行う際にけん引フックの装着位置が確認できず、除雪作業の妨げとなった事案が発生したことを踏まえ、今後、大型トラック・バスのけん引等する際の注意事項について、別添「大型トラックのフロント・けん引フック」をご活用頂き、貴会傘下会員に御周知頂くとともに、貴団体が管理するホームページに掲載する等の御協力をよろしくお願いいたします。

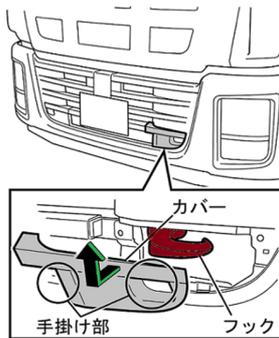
大型トラックの フロント・けん引フック

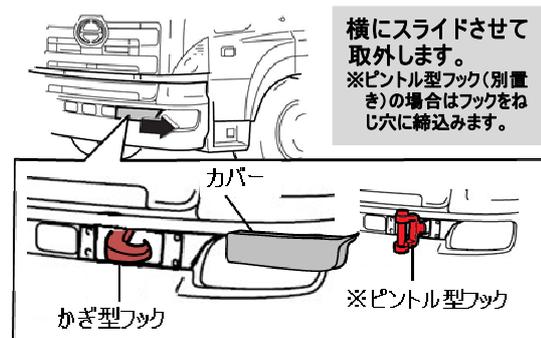
大型トラック・バスには、車両の前後に「けん引用フック」を備えています。*1
「フロント・けん引フック」は、フロント・バンパーの内側など、カバーで覆われ、通常の状態では見えない場合があります。*2
「フロント・けん引フック」を使う時には、下図に例示するように カバー類などを取外して使用してください。
なお、「けん引フック」を使用してけん引する際には、「取扱説明書」の指示に従って行ってください。不適切な使用は、思わぬ事故を招きます。
「フロント・けん引フック」の使用が終わったら、必ず、再度カバーをしっかり取付けてください。

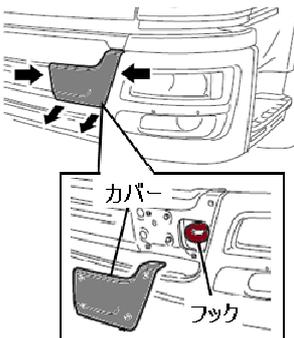
※溝やぬかるみなどに車両がはまり込んで(スタックして)いる場合など、大きな力がかかるけん引が必要な時は、使用しないでください。このような場合のけん引には危険が伴いますので、専門のレッカー業者に依頼することを お勧めします。

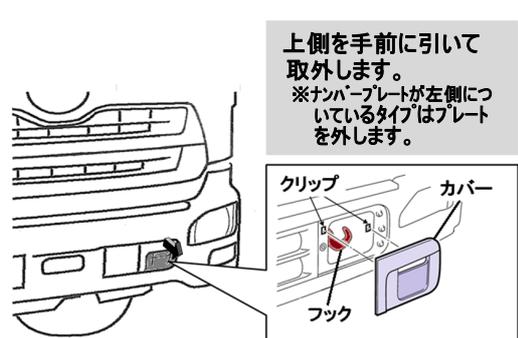
＊1：一部の車両はけん引フックが装着されていない場合があります。詳しくはお近くの販売会社にお問い合わせください。
＊2：大型トラック・バスの一部では、車両の空気抵抗低減による燃費向上などの観点から、カバーで覆っています。

フロン・けん引フック カバーの取外し

いすゞ・ギガ

手掛け部を手前に引き上げて取外します。
※スクリュウを外すタイプもあります。

日野・プロフィア

横にスライドさせて取外します。
※ピントル型フック(別置き)の場合はフックをねじ穴に締込みます。

三菱ふそう・スーパーグレート

下側を手前に引いて外し、両側に指を入れて取外します。

UD・クオン

上側を手前に引いて取外します。
※ナンバープレートが左側についているタイプはプレートを外します。

※標準的車両の例を示します。その他の車両については、車載の「取扱説明書」をご覧ください。
(2014 年 11 月現在)

「けん引フック」取扱いの注意点

・けん引用ロープは、右図の範囲で使用します。
・けん引用ロープは、強度のあるものを使用し、外れないようにします。
・けん引用ロープやフックには、大きな力や急な力がかからないようにします。

一般社団法人 日本自動車工業会
いすゞ自動車㈱／日野自動車㈱／三菱ふそうトラック・バス㈱／UDトラックス㈱